

IIJ/AS2497 と IPv6

Matsuzaki 'maz' Yoshinobu
maz@iij.ad.jp

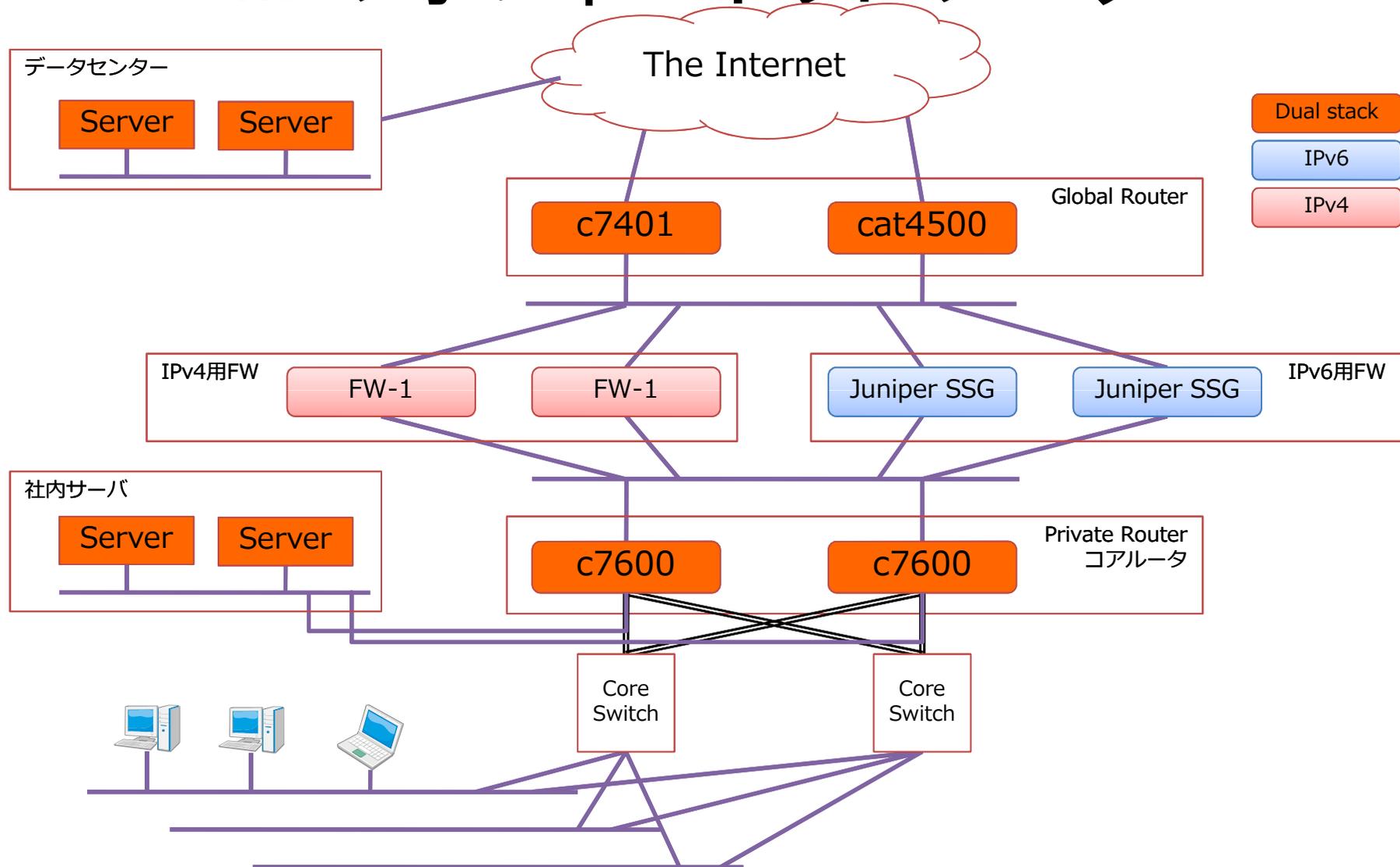
IPv6とIIJバックボーン

- 1998頃
 - IPv6用に別網を構築
 - PCベースのルータ(kameスタック)
 - tunnel/ethernet
- 2000頃
 - cisco7200に置き換え
 - tunnel/ethernet/T1
- 2005頃
 - IPv4/IPv6デュアルスタックに移行開始

IIIオフィスでのIPv6対応

- IPv4/IPv6のデュアルスタック環境
 - IPv6の実験場
- 1998年頃から順次導入
 - 最初は技術部門に
- 2003年、オフィス引越しで全セグメントに導入
 - 営業や管理部門も

IIIのオフィスネットワーク



社内クライアント環境

- ルータはHSRPv2で冗長化 (fe80::1)
- ルータからRAを広報 (Other Config Flag付き)
- DHCPv6でその他の設定を通知
 - デフォルト経路の向け先はHSRPの仮想アドレス
 - 参照用DNSのアドレス
 - DNSサフィックス

社内サーバ関連

- ほぼ全てのサービスはホスト名で参照される
 - サーバのIPv6対応はDNSでAAAAを書くかどうか
 - 端末がIPv6対応していればIPv6でアクセス
- 対応できるものから順次対応し、ほぼ完了
 - メールや社内web、ネットワークプリンタなど

IIJのIPv6対応サービス

- 1999
 - IPv6 over IPv4 トンネルサービス(実験)
- 2000
 - IPv6ネイティブサービス
- 2001
 - IPv6/IPv4デュアルスタックサービス
 - IPv6データセンター接続サービス
 - IPv6 over IPv4トンネルサービス(個人向け)



- ▶ よくあるご質問
- ▶ お問い合わせ
- ▶ サイトマップ
- ▶ English

サイト内検索 検索

Ongoing Innovation

株式会社インターネットイニシアティブ

HOME > サービス・ソリューション > 一覧: カテゴリ別IIJサービス IPv6対応計画

■ IIJサービス IPv6対応計画

IIJでは、IIJがご提供するサービスとネットワーク設備のIPv6対応を順次進めています。現段階でのIPv6への対応状況は下記の通りです。対応状況/予定は、計画の進捗があり次第、更新いたします。

(2009年11月26日現在)

■ 接続系サービスのIPv6提供状況

※ 2009年11月26日の更新内容を赤字で表示しています。

サービス名	IPv6ネイティブ接続環境 IPv6/IPv4デュアルスタック接続環境	IPv6トンネリングサービス	IPv6仮想アクセス	対応状況および制限
				● 参照用DNSサーバー

■ 資料請求・お問い合わせ
サービス・ソリューションに関する資料請求・お問い合わせなどが可能です。

- ▶ 資料請求
- ▶ お問い合わせ
- ▶ サービスお申し込み
- ▶ すでにIIJのサービスをご利用のお客様はこちら

■ サービス・ソリューション

- ▶ カテゴリ別から探す
- ▶ サービス・ソリューション一覧: 目的別
- ▶ 導入事例



接続サービスの対応状況

- 専用線を利用したサービス
 - IPv6 and/or IPv4を選べる
 - 参照用DNS、NTPを含めて対応済み
- アクセス網を利用したサービス
 - アクセス網の対応次第
 - モバイル、フレッツサービス
 - 今の所、何らかのIPv6 over IPv4トンネルが必須

アプリケーションサービスの対応状況

- DNSアウトソースサービス
 - IPv6での問い合わせに対応済み
 - 当然、AAAAレコードも記述できる
- メールサービス
 - 外部との配送部分はIPv6対応済み
 - メールクライアントからのIPv6配送に今年対応予定
- webホスティングサービス
 - IPv6でのアクセスに対応済み
 - IPv6 enable WWW logoの取得対応

良いレシピが必要

- 特にコンシューマ及びSOHO向け
 - NTT NGNネイティブ方式
 - NTT NGNトンネル方式
 - or 6rd ☺
 - MVNO
- 自宅/自分で使いたくなるサービスが良い
- IPv6閉域網が喉に引っかかった骨になるかも